岩盤ボーリング柱状図

調査名　その他河川天地川支川１　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	支川1-2-No.1	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目	北緯	34° 18′ 35.4600″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2020／11／25～2020／11／26	東経	132° 30′ 41.4200″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 78.60m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1-B58型
				エンジン	ヤンマーNFD-13K　ポンプ：東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂	茶褐								中～細砂主体。礫はφ2～5mmの亜角礫主体で，しばしばφ10mm程度，最大φ30mm程度の花崗岩礫を含む。特に，GL-2m付近はφ10mm程度のものが多い。全体的に木片を混在する。	11/25 0.95
2	76.10	2.50												
	75.95	2.65		礫混じり粘土	黒茶	w3			Ⅲ		CM	3 (100)	粘性土主体。有機質である。φ2～10mm程度の礫を全体的に混入する。最大φ50mm程度の花崗岩礫を含む。	11/26 2.65
3												66[93](100)		
4				花崗岩	淡灰褐	w2	h2	B	Ⅱ	b	CH	35[83](100)	硬質な粗粒花崗岩。GL-3.0mまでは岩級区分CM級を呈し，2～10cmの短柱状～柱状コアで採取される。GL-3.0m以深はCH級となり，ハンマー軽打により金属音を発する。柱状コアで採取され，亀裂間隔は20～60cm程度である。	
5												44[79](100)		
6	72.60	6.00												
7														
8														
9														
10														
11														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
52	1.15	52	288	
	1.45	300		
3	2.15	3		
	2.50	350		
50以上	3.00	貫入不能		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
11/25	420	66／ケーシング	打込み／打込みシュー	0	0	0	W/0	0
		66	N.ダイヤ	300	240	2	W/8	7
	390		W／ｎ？イヤ					
11/26			N.ダイヤ					